



（住所）桜井市大字金屋896  
 （祭神）大己貴神  
 （交通）JR桜井線三輪駅から徒歩約15分  
 （拝観）境内自由  
 （駐車場）なし  
 （電話）三輪恵比須神社（0744・42・6432）

### 志貴御県坐神社（桜井市）

三輪山の南西の麓に鎮座しており、すぐ近くを山の辺の道が通っています。御県とは天皇の

食事に添える蔬菜（野菜）を栽培する朝廷の直轄地を示しており、大和にあった六つの御県の一つ、志貴の地に建てられた式内大社です。創建は明らかではありませんが、730（天平2）年の大和国正税帳



にその名が見られます。主祭神は大己貴神。本殿は流造檜皮葺、前に千鳥破風が付きまます。拜殿は切妻造椽瓦葺。境内社は二社あり、琴平神社・厳島神社。拜殿東側には四つの磐座が等間隔で並んでおり、この場所が古く

から信仰の場所であったことがうかがえます。鳥居の前に立つと南には首羽山、鳥見山、御破裂山の展望が広がります。桜井市金屋は、「八十のちまた」といわれ交通の要衝でした。万葉集にも歌われた海柘榴市が立った場所です。東は伊勢街道を通じて初瀬・宇陀・東国

へ、南は磐余道や多武峰街道を通じて飛鳥・吉野・紀伊へ、北は山の辺の道を通じて奈良・山城・近江へ、西は横大路や大和川の水運により難波・瀬戸内海へとつながっていました。神社は第十代崇神天皇の磯城瑞籬宮跡の伝承地といわれ、石碑が建っています。まさに古代ヤマト王権が発展して

いく拠点となった地です。（奈良まほろばソムリエの会会員 岡本喜一）

# 古代ヤマト王権発展の地

代ヤマト王権が発展していく拠点となった地です。（奈良まほろばソムリエの会会員 岡本喜一）